



消防団たずね歩き

北消防団八多支団

八多は「はた」と読みます。神戸市の北神地域にある22平方kmの田園地域で、八多神社など歴史を持つ文化財が残る一方、高速道路のジャンクション建設や宅地開発などが急激に進む町でもあります。北消防団八多支団は8分団・班、総勢167人で地域に密接したさまざまな活動をしています。

平成29年、年が明けて間もなく、無病息災を願って積み上げた正月飾りを燃やす「とんど」の火災警戒から地域における消防団活動が始まりました。近年「とんど」という行事は少なくなっていますが、八多町では古くから恒例行事のため、地域の方からの要請により毎年警戒警備を実施しています。

空気が乾く1月末日、八多神社において「文化財防火デー」に伴う訓練を北消防署北神分署と合同でおこないました。地域の守り神的な神社を大切に思い、文化財の搬出や放水など力が入った訓練をおこないました。

暖かくなり始めた5月、他の消防団にはない水道局との合同による「給水訓練」を実施しました。八多町には水道局の低地配水場があるほか、地震などの際に専用の蛇口を取り付ければ飲料水が出る緊急栓というものがあるが町内3カ所に配置されています。水道局職員の指導のもと、手動による給水方法や緊急栓から飲料水を出すために取り付

ける蛇口の設置や取り扱い方法について訓練を実施しました。

また、防災福祉コミュニティ、幼稚園児、小・中学校生を対象に消火器による消火訓練指導や起震車で地震体験、応急手当の指導などもおこないました。

夏になると神戸市小型動力ポンプ操法大会での「優勝」を目標に、土日の早朝から日没まで競技時間を1秒縮めるために、何度も操法訓練を繰り返しました。

秋には町民運動会や町民文化祭などにも八多支団として積極的に参加しました。

地域と密接な関係を保ち、住民から信頼される消防団であり続けるため、八多支団一丸となってこれからも地域の安心と安全を守り続けます。

(本団分団長 西浦康夫)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

